

# 英語科学習指導案

日時・場所 平成21年7月8日(水) 5校時

生徒 2年C組(男子16名 女子15名 計31名)

指導者 赤松 壮介

## 1 単元名 Unit 3 E-pals in Asia (New Horizon English Course Book2)

## 2 単元について

### (1) 生徒について

英語学習における、学級の生徒の実態については、学力面では、「語彙力」が乏しいということが挙げられる。基本的且つ、一年生時に覚えるべき重要単語の綴りを覚えていない、書けないという生徒が予想以上に多いというのが現実である。よって、授業時などにおいて単語テストを確実に実施したり、授業前準備としての学習ノートへの本文の書き取りや単語の意味調べの学習習慣の確立、それらの項目の学期末評価への重みを大きくする等の日々の対策を講じている。第二に重要文の「文構造」を正しく理解している生徒が少ないということである。これについては、毎日の朝学習等での徹底したドリル学習を行ない、現状の改善に努力している。

学力面では以上のような語彙力や文型といったものに少々課題が残っている状況である。

生徒の情意面については、授業中に発問をすると、発問の難易度にもよるが、およそ学級の10人程度の生徒が挙手をする。「面倒くさいから」という理由で挙手しないという生徒も少数派ではあるが、いることも確かである。しかしながら全体的にはコミュニケーションへの関心・意欲・態度といったものは高いと考えられる。

本単元で取り扱う「パソコン」「メール」「ウェブページ」といった題材にはほとんどの生徒が日常的に使用したり、体験したりして慣れ親しんでいる。したがって、生徒の日常的な体験を生かし、英語で表現していけると考えている。また本時で取り扱う「自分の夏休みの計画」についても、事前のアンケートの結果、ほとんどの生徒が夏休みにやりたいことを持っているとしており、英語を使ってお互いの思いを伝え合う素地があるととらえている。

### (2) 教材について

本教材「Unit 3 E-pals in Asia」では、不定詞の副詞的用法や名詞的用法を取り上げる。本単元は、グリーン先生が絵美やマイクたちにどんな目的でコンピューターを使っているのかアンケートをとっている場面から始まる。Eメールフレンドがほしい絵美が、世界の子供たちが情報交換しているウェブページを見つけ、その内容を読み進める、という形で場面が展開していく。本時に扱うDialogでの場面は「Eメールフレンドが欲しい絵美が友達のマイクにどうしたらメール交換ができるか相談をしている」という場面である。

コンピューターやEメール、ウェブページといった情報ツールや、Eメールフレンド、マンガサミットといった題材は生徒たちによって非常に身近であり、現実世界で体験することの多い題材である。本単元の終末の活動では、これらの題材の良さを生かし、今日本ではやっていることや、自分の発信していきたいことを伝えるメールを書く活動を設定していきたい。

### (3) 指導について

今回の授業においては不定詞の名詞的用法のとりわけ「want to～」という文構造の英語を生徒が理解して、基本的な英会話の習得につなげて行くような指導をしたい。そのための素地として、教科書の対話文の意味・発音といったものはしっかりと理解しながら、読めるような指導を前時の段階で行っている。

しかし、留意すべき事項としては、文構造をこと細かく説明してから授業に入っていくというやり方ではなく、一連の簡単な英語での談話を生徒とこなしていく過程の中で、文構造になじませるという作業から授業に入っていきたい。導入の口頭練習から言語活動、発表までペア活動が有効に働くように授業の流れを組み立てていきたい。特に、英語が苦手な生徒も言語活動に参加できるように教え合いの雰囲気大切にしていきたい。

また、今回は、自分の夏休みの計画を英語表現してみようという到達目標で授業を展開していく。その際に、地名や、欲しい物を表現する場面で、未習の英単語を使わなければならない生徒も出てくることが予想される。よって、生徒に和英辞典を活用させることにも留意したい。

発表場面では、生徒が明るく元気よく発表に取り組めるような工夫を取り入れ生徒の発表を引き出したい。

### 3単元の目標

〈関心・意欲・態度〉

- ・仲間と協力して活動に意欲的に取り組んでいる。イ、エ
- ・時間のある限り、英文を話したり、書いたりしようとしている。イ、エ

〈表現の能力〉

- ・設定されたトピックについて自分の立場で話すことができる。イ（イ）
- ・相手の質問に適切に答え、自分の思いが伝わるように英文を書くことができる。エ（オ）

〈理解の能力〉

- ・書かれた内容について正確に読み取ることができる。ウ（イ）
- ・書かれた内容について大切な部分を読み取り、その文が何を言おうとしているのかを汲み取ることができる。ウ（ウ）

〈知識・理解〉

- ・不定詞の副詞的用法・名詞的用法の意味・用法を正しく理解している。（3）のエ（カ）
- ・手紙の書き方について正しく理解している。エ（イ）

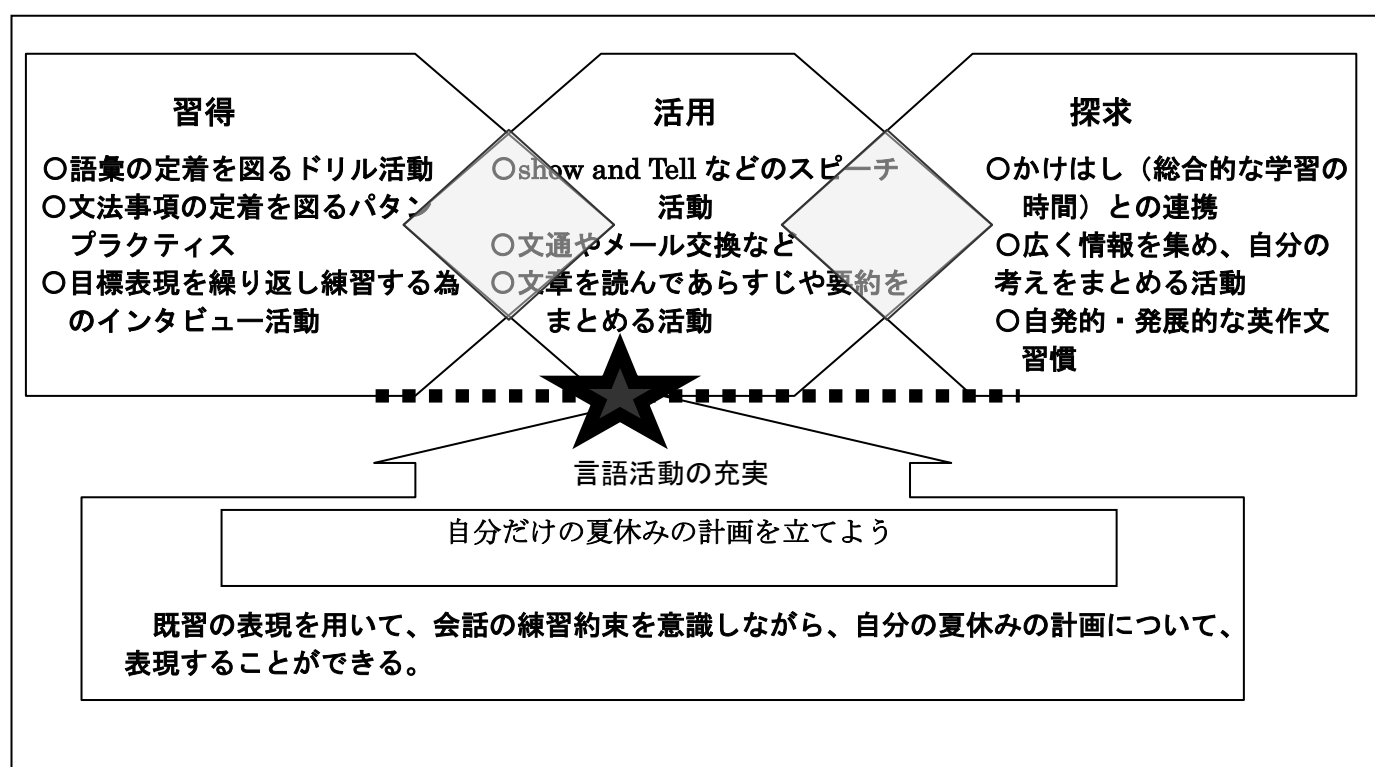
### 4単元の指導計画・評価規準（6時間扱い）

#### （1）単元全体の評価規準

時間	評価規準				
	学習内容	ア コミュニケーションにおける関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 知識・理解
1	Starting Out	・コンピューターにはどんな使い方があるか考え、関心を持つことができる。	・コンピューターを使う目的について対話することができる。	・書かれた内容について正確に読み取ることができる。	・不定詞（目的を表す副詞的用法）の形・意味・用法を理解し、表現できる
2	E-pals in Asia Dialog 教科書を使用した会話練習	・仲間と協力し活動に意欲的に取り組んでいる	・本文の音読やロールプレイを大きな声で行うことができる。	・書かれた内容について正確に読み取ることができる。	・不定詞（名詞的用法）の形・意味・用法を理解し、表現できる
3 (本時)	E-pals in Asia Dialog	・仲間と協力し活動に意欲的に取り組んでいる	・設定されたトピックについて自分の立場で話すことができる。 ・自分の思いが伝わるように英文を書くことができる。	・書かれた内容について正確に読み取ることができる。 ・書かれた内容について大切な部分を読み取り、その文が何を言おうとしているのかを汲み取ることができる。	・不定詞の副詞的用法・名詞的用法の意味・用法を正しく理解することができる。
4	Reading for Communication 本文理解 音読練習	・韓国とタイの漫画事情について意欲を持って知ろうとしている。	・本文の音読を大きな声で行うことができる。	・書かれた内容について正確に読み取ることができる。	・インターネットで海外の情報を求める英文を読んで、内容を理解することができる。

5	Reading for Communication 本文理解 音読練習	・香港で行われた「アジアマンガサミット」について意欲を持ってその内容を知ろうとしている。	・本文の音読を大きな声で行うことができる。	・書かれた内容について正確に読み取ることができる。	・「アジア・マンガサミット」について説明するメールを読んで、内容を理解し、またそれを参考にして日本の事情を簡単に説明できる。
6	Reading for Communication 紹介	・前時の内容を参考にして、日本の事情にも関心を持つことができる。	・紹介のメール文を空欄を入れて作成することができる。	・作成したメール内容について説明することができる。	・日本のマンガ事情について日本語で簡単に説明することができる。

(2) 単元における「習得」「活用」「探求」の学びの流れと、言語活動の充実をはかる手立て



5本時の指導

(1) 目標

「個人練習やペアワーク活動を通して want to～という英語の構文を理解し簡単な英語を話すことができる。」

(2) 具体の評価規準

A 十分満足できる	B 概ね満足できる	B に至らない生徒への手立て
自分でやりたい願望について原稿を暗唱して、より生産的な会話を行うことができる。	自分でやりたい願望について原稿を見ながら基本的な会話を行うことができる	単語の意味を教えるなど、配慮した机間指導によりスキット作成の負担を軽減し活動を行わせる。

### (3) 本時の構想

重要構文を機械的に訳読式で教えるだけではなく、対話練習の中で、生徒が理解し、話すことができるように支援したい。基本的な内容を学習するグループということを念頭に置き、発問、机間指導等にも細心の注意を持って、指導していきたい。

- ① 前時までの学習内容を振り返らせる。
- ② 夏休みの個人希望について話す表現方法と様々な語彙を学び、口頭練習に移行する。
- ③ 対話活動を行ってみる。
- ④ 何名かの生徒に発表させる。
- ⑤ 自分の計画や願望について配布された学習シートに記入する。
- ⑥ 本時の評価を行う
- ⑦ 次時の予告と宿題の指示

(4) 展開

段階 時期	学習内容	学習活動	指導上の留意点と 評価の工夫 ☆留意点 ◎評価
導入 (10分)	1 挨拶(greeting) 2 Warm-up (small conversation)  3 前時の学習内容の想起(review)	1 英語で挨拶をする。 2 日付・曜日・天候・気温等の英会話での確認  ・アンケートの発表	◎元気よく英語で挨拶しているか。 ☆簡単な英会話の応答ができているかを観察する。 ☆クラスルームイングリッシュを活用する。
<b>自分だけの夏休みの計画を立てよう。</b>			
展 開  (35分)	4 課題提示 (Presentation of the subject)  5 課題追求 (Search for subject)	4. 今日の課題を確認する。(モデルの提示)  5. (1) 基本文型の練習 語彙のリピート練習をする。 ・ FC を見ての口頭練習 ・ FC を見ないでの口頭練習 (2) ペア練習を行う。 実際に対話練習をクラスメートと複数回行う。 ・ 原稿を見ての複数での口頭練習 ・ 原稿を見ないで隣の生徒との口頭練習 ・ 原稿を見ないで複数生徒との口頭練習 (3) 発表を行う。 複数の生徒に自分の夏休みの願望を前に出てきて発表させる。	☆実際の英語の運用方法を教師が示す  ◎既出文の形をきちんと理解しているか。 ☆テンポよく確認、練習させる。  ☆生徒が自信を持って言えるように、くり返し読む練習の手助けをする。  ◎意欲的に、口頭で会話文作成を行なっているか。 ☆語彙がわからない生徒には和英辞典も使わせたい。  ◎自分でやりたい願望について原稿を見ながら基本的な会話を行うことができるか。  ☆アイコンタクトや感情表現などにも留意させたい。 ◎意欲的に、口頭で会話練習を行なっているか。 ☆英語が得意な生徒には英文暗唱で取り組ませたい。 ☆挙手により個人発表を促す。 ☆できるだけ多くの生徒に発表させたい。 ◎積極的に発表活動を行っているか。 ◎他の生徒の発表をしっかりと聞いているか。 ☆良い点を指摘し、評価する。 ☆教師が適宜、発表した生徒の評価を行う。
終 末  (5分)	6 本時のまとめ (consolidation)  7 次時の予告 (notice about the next class)  8 挨拶(greeting)	6. 実際に自分が話した表現を学習シートに書く。  7. 次時の学習に向けての予習を指示する。  8. 英語で挨拶をする。	☆学習シートを配布する。 ☆学習した内容をしっかりと書くことができているか。 ☆次ページの単語の意味調べと本文の書き取り等の指示をする。  ◎元気よく英語で挨拶しているかを観察する。

(5) 板書計画

Wednesday, July eighth, sunny

Today's Point

自分だけの夏休みの計画を考えよう！

Mr.Akamatsu の  
夏休みの願望！

- \_\_\_\_\_
- \_\_\_\_\_
- \_\_\_\_\_

写真

写真

写真

写真

写真

写真

写真

写真

写真

写真

写真

写真

会話の流れ

： \_\_\_\_\_  
： \_\_\_\_\_  
： \_\_\_\_\_  
： \_\_\_\_\_  
： \_\_\_\_\_

ペア練習のときの約束

- \_\_\_\_\_
- \_\_\_\_\_
- \_\_\_\_\_

口頭練習で使う写真4パターン